

第 3 章 大 気 測 定 車 に よ る 調 査 結 果

第3章 大気測定車による調査結果

石川県では、大気汚染測定局が未設置の市町村における環境大気の状態の把握及び特定地域の大気汚染の原因を確認するために、環境大気測定車（愛称「大気くん」）による調査を実施している。

平成13年度は、次の地点で調査を実施した（表3-1）。調査の目的は、いずれも測定局未設置町村での測定調査である。

表3-1 大気測定車設置場所一覧表

測定点	所在地	設置場所	調査期間	調査日数
志雄	羽咋郡志雄町子浦そ18-1	志雄町役場	5月30日～7月3日	35
宇ノ気	宇ノ気町字宇野気二71番地2	宇ノ気町保健福祉センター	7月3日～9月3日	62
河内	河内村口直海イ15	河内村役場	9月10日～11月12日	64

（注）調査日数は、有効測定日に算定されない日を含む。（例：開始終了日等）

1 志雄測定点

現在、環境大気測定局を設置していない志雄町内の役場で測定を行った。

この調査地点の近傍には、主要地方道高岡・羽咋線がとおり、近くには、公共施設が多い。

環境大気試料採取位置は、前道路から水平位置で5m、垂直位置で地上から3mの高さである。

もっとも近い環境大気測定局の同一期間に得られた期間平均値との比較を、表3-2-1に示す。

表3-2-1 志雄測定点と環境大気測定局との濃度比較表

区分	羽咋測定局	志雄大気くん	能登北部地域測定点の過去の結果
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.001	0.001～0.004
二酸化窒素(ppm)	0.004	0.004	0.001～0.007
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.026	0.024	0.010～0.031
市町村（市町村勢要覧 H1 2）	羽咋市	志雄町	門前(S61)、内浦(S62)、中島(S63)、珠洲(S63)、輪島(H1)、穴水(H2)、宇出津(H3)、輪島(H4)、珠洲(H4)、柳田(H5)、内浦(H6)、門前(H7)、富来(H8)、穴水(H9)、中島(H9)、柳田(H10)、内浦(H11)、輪島(H12)
人口（千人）（面積k m ² ）	26 (82)	7 (58)	
事業所数(製品出荷額(億円))	284 (505)	69 (660)	
自動車保有台数(台)	17,796	5,273	
道路延長(m)	365,770	146,166	

このように、工場からの排出が起源とされる二酸化硫黄は少なく、バックグラウンド濃度に近いと考えられ、また、自動車起源の二酸化窒素も、比較的少ない。

環境基準の短期的評価では、光化学オゾンを除き、全ての項目で環境基準を達成していた（表3-2-2）。

表3-2-2 志雄測定点における環境大気濃度（調査期間の平均）

項目 測定点	二酸化硫黄		二酸化窒素	一酸化窒素	一酸化炭素		光化学オゾン		浮遊粒子状物質		非メタン炭化水素
	ppm	評価	ppm	ppm	ppm	評価	ppm	評価	mg/m ³	評価	ppmC
大気くん 志雄	0.001		0.004	0.001	0.2		0.049		0.024		0.14

評価：環境基準の達成状況（短期的評価）は、 印で達成、 印で非達成を表す。

2 宇ノ気測定点

調査地点は、宇ノ気町役場に隣接する保健福祉センターであり、市街地に位置し、公共施設が多い。

環境大気試料採取位置は、主要地方道高松・津幡線から水平位置で5 m、垂直位置で地上から3 mの高さである。

もっとも近い環境大気測定局の同一期間に得られた期間平均値との比較を、表3-3-1に示す。

表3-3-1 宇ノ気測定点と環境大気測定局との濃度比較表

区分	津幡測定局	宇ノ気大気くん	能登中南部地域測定点の過去の結果
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.002	0.002 ~ 0.003
二酸化窒素(ppm)	0.008	0.009	0.003 ~ 0.006
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.035	0.033	0.014 ~ 0.037
市町村（市町村勢要覧 H1 2）	津幡町	宇ノ気町	羽咋神子原(S60)、七尾天神(S60)、 押水(H1)、七塚(H8)、押水(H1 0)、七尾(H11)
人口（千人）（面積k m ² ）	34 (110)	13 (32)	
事業所数(製品出荷額(億円))	183 (373)	206 (1,830)	
自動車保有台数(台)	21,463	8,213	
道路延長(m)	378,717	130,256	

このように、工場からの排出が起源とされる二酸化硫黄は少なく、バックグラウンド濃度に近いと考えられ、また、自動車起源の二酸化窒素も、都市部からみて比較的少ない。

環境基準の短期的評価では、光化学オゾンを除き、全ての項目で環境基準を達成していた（表3-3-2）。

表3-3-2 宇ノ気測定点における環境大気濃度（調査期間の平均）

項目 測定点	二酸化硫黄		二酸化窒素	一酸化窒素	一酸化炭素		光化学オゾン		浮遊粒子状物質		非メタン炭化水素
	ppm	評価	ppm	ppm	ppm	評価	ppm	評価	mg/m ³	評価	ppmC
大気くん 宇ノ気	0.002		0.009	0.007	0.3		0.037		0.033		0.21

評価：環境基準の達成状況（短期的評価）は、 印で達成、 印で非達成を表す。

3 河内測定点

調査地点は、河内村役場が所在する地点であり、直海谷川が手取川に合流する地点であり、周辺は山の谷間に田園地帯が広がっている。

環境大気試料採取位置は、主要地方道小松・鳥越・鶴来線から水平位置で約100m離れており、垂直位置で地上から3mの高さである。

もっとも近い環境大気測定局の同一期間に得られた期間平均値との比較を、表3-4-1に示す。

表3-4-1 河内測定点と環境大気測定局との濃度比較表

区分	山島測定局	河内大気くん	加賀地域測定点の過去の結果
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.001	0.002 ~ 0.010
二酸化窒素(ppm)	0.008	0.009	0.001 ~ 0.020
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.019	0.020	0.013 ~ 0.037
市町村(市町村勢要覧 H1 2)	松任市	河内村	辰口(S62)、山中(S63)、寺井(H1)、吉野谷(H2)、川北(H3)、鶴来(H4)、川北(H5)、鳥越(H7)、尾口(H8)、吉野谷(H9)、山中(H10)、川北(H11)、白峰(H11)、野々市(H12)、寺井(H12)
人口(千人)(面積km ²)	65 (60)	1 (74)	
事業所数(製品出荷額(億円))	532 (3,474)	13 (36)	
自動車保有台数(台)	47,908	938	
道路延長(m)	594,835	37,645	

このように、工場からの排出が起源とされる二酸化硫黄は少なく、バックグラウンド濃度に近いと考えられ、また、自動車起源の二酸化窒素は、発生源の影響を受けており、主風向が東であることから、主要地方道(西側)からでなく、役場付近の道路(駐車場等)からの寄与によるものと考えられる。

環境基準の短期的評価では、光化学オゾンを除き、全ての項目で環境基準を達成していた(表3-4-2)。

表3-4-2 河内測定点における環境大気濃度(調査期間の平均)

項目 測定点	二酸化硫黄		二酸化窒素	一酸化窒素	一酸化炭素		光化学オゾン		浮遊粒子状物質		非メタン炭化水素
	ppm	評価	ppm	ppm	ppm	評価	ppm	評価	mg/m ³	評価	ppmC
大気くん 河内	0.001		0.009	0.013	0.3		0.028		0.020		0.17

評価：環境基準の達成状況(短期的評価)は、印で達成、印で非達成を表す。